

北 東 ア ジ ア 文 化 通 信

ホームページ版 第 1 号

編集発行：鳥取看護大学・鳥取短期大学 北東アジア文化総合研究所

初めての台湾訪問…………… 1～2
鳥取短期大学 学生課 布廣 美起

初めての台湾訪問

鳥取短期大学 学生課
布廣 美起

今年度の短期海外研修では、学生 11 名、引率 2 名の計 13 名で台湾を訪問した。参加学生 11 人中 7 名が初めての海外ということもあり、出発時から緊張した面持ちであった。多少の緊張感を持った旅行は、学生たちの安全管理に繋がったように思われる。2 時間ほどで台湾に到着し、空港から台北市内へ向かう山深い風景を眺めていると、まさに距離も文化も日本に近い国だと感じた。

台北に到着後、最初の目的地である龍山寺に向かった。このお寺は、台湾で最も有名な神仏混淆の寺院のひとつであり、日本に馴染みの無い道教の建築様式は、特に目を引いた。参拝者が非常に多く賑わった時間帯に参拝し、皆が一斉に経を唱える様子は圧巻だった。台湾の信心深い国民性を目の当たりにした。線香の煙が大気汚染に繋がる環境問題であると、ガイドより説明された。

初日の夕食は、大皿に盛られた揚げ物、炒め物、スープ、チャーハン等の台湾料理を円卓形式でいただいた。日本人の好みに合う味付けであり、学生からも美味しいとの意見が多か

った。八角、ニンニク等様々な香辛料と島国ならではの魚介類をふんだんに使った料理が多く、お米も日本米に近い品種だったように感じた。

ホテルにチェックイン後、全員で士林(シーリン)夜市へ行った。台湾最大の夜市であり、100 年以上前から地元庶民の台所として賑わっている場所である。食べ物の屋台だけでなく、ダーツなどのゲーム場、食品、雑貨店など幅広い商品が所狭しと陳列されていた。個人的には、金魚すくいの隣に海老釣りのテントがあり、釣れた海老をその場で揚げて提供していたのが、初めて目にした面白い光景であった。自由行動に少し不安はあったものの、集合時間には全員集まり、ホテルに帰着した。

2 日目は、台北市内から車で 1 時間ほどかけて九份へ移動した。九份は台北の東に位置し、かつては金鉱として栄えた町で、山深い土地柄も含め日本に似た懐かしいような印象を受けた。ジブリ映画の舞台とも言われており、多くの観光客で賑わっていた。午後は忠烈祠で衛兵の交代式を見学した後、故宮博物館で美術品を鑑賞した。作品各々に製作者の思いや過去の戦争に翻弄された歴史など、壮大な物語が投影され、さらに感慨深い思いで眺めた。



九份の街並み



故宮博物館前で記念写真

3 日目は免税店で買い物をした後、中正紀念堂を見学した。中国国民党の故蒋介石総統を記念し、建築された建物で、内部には蒋介石の遺物や愛用車、褒章などが展示してあり、広大な敷地の公園と庭園が美しい施設であった。見学後は台北 101 タワーへ向かった。あいにくの曇り空ではあったが、高さ約 508 メートルからの景色は壮大であり、360 度のパノラマ風景を楽しめた。

昼食は小籠包で有名な鼎泰豊（ディンタイフォン）で食事をし、午後からそれぞれのグループで自主研修へ出かけた。前日の夕食時に各グループの計画を尋ねたところ、リノベーションしたカフェエリア、市内の観覧車、ショッピング、夜市等の意見が出された。緊急時の連絡先を伝え、頻りに携帯をチェックしたが、特に緊急の連絡はなく、夜 10 時の点呼には全員のホテル帰着が確認できた。

台湾は治安が良く、日本から近く移動に便利、食べ物が米中心で馴染みがある、親日国である、日本語が通じやすい、などの条件から研修地に適していると感じた。初めての海外旅行という学生が大半であり、緊張しながら対応する場面も見られたが、大きなトラブルもなく過ごすことができ安堵した。引率者として、学生の充実した学びに繋がるサポートを心掛けて行動した 4 日間であった。学生が不安なことや疑問に感じたことを質問に来たり、楽しかったことを報告しに来たりと、コミュニケーションをとりながら研修できたと思う。参加した学生には、これをきっかけとして他国でも異文化体験を行い、視野を広げて欲しいと感じた。インターネットで簡単に情報が手に入り、日本に居ながら世界の情報をいち早く知ることができる時代であるが、実際に異文化圏を訪れ、本物に触れることで学べることは非常に多い。写真で見ただけの景色と、実際に訪問して見る景色では、色合いや空気だけでなく、人との交流やその土地ならではの食べ物の美味しさ、生活音などその場での体験が加わり、さらに魅力ある風景に変わるはずである。また異文化を知ることは、日本を知ることにも繋がるので、幅広い異文化体験が自国の文化を見直すきっかけになれば更に深い学びになると思う。



中正紀念堂にて